

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名：こどもデイサービスウルル

2023 年度

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			目的に応じてスペースが適切に確保できるように配慮を心がけている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			安全と質の高い療育を目指し、配置基準を上回る人員で実施している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		2階のため階段を使用しているが、個々に合わせ職員が見守りと補助をしながら対応している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			運営規定・方針を軸として、職員全員で取り組んでいる。情報共有を常に心がけ、評価や改善を話し合う機会を多くとっている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートを通じて、業務改善に繋げるよう努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月1回の事業所内会議及び勉強会を実施している他、毎日のミーティングを実施、情報共有を大切にしている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者や利用者の意向を適切に分析し、個別に合わせた計画の作成に努めている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日々の活動プログラムを立て、活動の目標や評価を打ち合わせの際に確認し合い次へ繋げている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			個別活動・グループ活動・集団活動での取り組みを適宜組み合わせたプログラムの提供を行っています。固定化されいような組み方に配慮している。

⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		長期休暇中は、普段の目標にプラスし、新たな経験や体験ができる活動を多く設定している。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		利用者の発達状況及び保護者の意向を踏まえ、個別活動・グループ活動・集団活動での取り組みを適宜組み合わせ支援計画を立てている。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日打ち合わせを行い、前回の利用の様子を共有し、当日の利用者への配慮、注意点等を確認・共有する時間をとっている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		参加できない者もあり、記録の記入・連絡ノートを活用し共有に努めている。翌日の打ち合わせの時間にノートを活用して共有を深めている。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		記録を記入する時間を設けている。記録をもとに、振り返り・評価・改善につなげている。

	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		実施している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達管理責任者が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		子どもの様子や保護者からの依頼により、必要に応じてケース会議を実施している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在は医療的ケアを必要とする利用者はいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	保護者からの聞き取りのほか、相談支援専門員を通し、情報共有に努めている。また、必要時には、児童発達支援事業所に訪問している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		特に法人内の障害福祉サービス事業所への情報共有を行っている。相談員を通じて情報共有を行っている。

者との連携	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○ 現在は、一緒に活動する機会はない。	
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○			こども部会部会長として、自立支援ネットワーク全大会にも参加している。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			帰りの引き渡しの際に様子をお伝えしている。必要に応じ、電話連絡や面談を実施し共通理解できるよう努めている。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		個々での対応は、実施している。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			定期的な面談の他、必要に応じて個別に説明実施している。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			その都度相談に応じている。職員の中に心理カウンセラーもいるため、きめ細かな支援と相談に乗ることができる。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者同士のつながりを必要としないとの声が多いが、必要と感じている保護者もいるため、検討していきたい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情委員会を設置している。関係機関にも連絡を取り、迅速に対応できるようにしている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			2ヶ月に1度通信を発行し活動報告やお知らせなどの情報を発信している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報が漏れないよう、管理を徹底している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			送迎時にその日の様子を伝えたり、ラインを活用してお知らせしている。必要に応じて電話で連絡を取り合ったり、面談を実施している。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域で暮らすことを目的とし、日常的に買い物や近くの公園に行ったりして、日々の活動を通して地域の方との関わりを深めている段階である。
非常時	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			それぞれのマニュアルを策定し、研修・訓練を随時実施している。

等 の 対 応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		全体では2か月に1度火災、風水害、地震・津波を想定した訓練を実施している。その他、職員のみで訓練や確認等を定期的に行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		職員に対して虐待防止研修を実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	現在身体拘束を必要とする子どもはいないが、やむを得ず必要となる場合には今後その旨を利用者や保護者に説明し、個別支援計画書に記載していく。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット報告書の作成後は、速やかに職員に共有し、再発防止に向け検討している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

2023年度

提出保護者人数:29名

事業所名:こどもデイサービスウルル

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27	2		・じっくり見る機会がない。 ・運動的なものを行うには、狭さを感じる。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	27	2		・人数も多く安心できる。 ・実際の様子が分からない。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	21	8		・2Fであり、階段がある。設備が必要な方は対象外になるのではと感じる。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	28	1		・まだ利用日数が浅いため、わからない。 ・課題を見つけだし計画してくれている。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	29			・体操・音楽・書道など色々なことを取り入れてくれている。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	16	9	・必要であると感じない ・そのような機会ができることを期待したい。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	29			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	28	1		・帰りに当日の様子を聞き、気になる点は電話等で話し、状況を共有できている。 ・お互いに伝えあっている。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	26	3		・普段職員と直接やりとりができないため(祖母に受け入れを頼んでいる)、伝えづらい部分やできていない部分を直接中々聞けていない。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	14	11	・参観会のようなものがあると良いのでは。 ・保護者同士の関りはないが、特に必要性を感じない。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	26	3		日頃から様子を伝えあっているので安心している。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28	1		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	28		1	・ウルル通信で様子を知ることができ、毎回楽しみにしている。

	⑭	個人情報に十分注意しているか	29		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	7	・防犯マニュアル・避難経路を知りたい。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21	5	・通信で定期的に避難訓練を実施されている様子をお知らせしてくれている。 ・月の利用日数が少なく訓練時に利用できていないため。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	27	2	・毎回楽しみにしており、とても嬉しく思います。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	27	2	・学校ではフォローしきれない療育(友人との関り)がとてもありがたい。 ・安全に配慮して支援をして下さり感謝している。 ・活動の内容をよく考えて下さり、手厚い支援を頂き、とても満足しています。いつもありがとうございます。

※その他ご希望や不具合等お気づきの点がありましたら、ご記入下さい。

- ・長期休暇時の外出や外食の企画を子供が毎回とても楽しみにしています。
- ・学校の友達以外の子とも交流があり、子供も他校の子との関りを楽しみにしている。
- ・お迎えに行った際、多くの職員さんが気持ちよく挨拶してくれているため、こちら気持ちよく帰れます。
- ・子どもが、ウルルへ行くことをとても楽しみにしています。
- ・学校の予定変更などにも対応して頂きありがとうございます。
- ・食育活動やおやつ作りなど、家では中々できない経験をさせてもらいありがたいです。
- ・家ではできない体験ができてありがたいです。

沢山のご意見や感想を頂き、暑くお礼申し上げます。

職員一同、これらを励みにし精進して参りたいと話あったところでございます。また、不都合や改善点につきましては、ひとつひとつ行っていきたいと考えております。また、ご意見等はいつでもお聞かせ頂けると有難いと思っております。

今後もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

児童発達管理責任者：石田 有紀